

## 第 69 回中部日本生理学会

会 期：2022 年 10 月 14 日（金）～15 日（土）

会 場：藤田医科大学フジタホール 500

当番幹事：藤田医科大学医学部生理学講座 I 長崎 弘，生理学講座 II 山下貴之

参加者：111 名

演題数：47 題

第 69 回中部日本生理学大会は 2022 年 10 月 14, 15 日の 2 日間、藤田医科大学キャンパスで開催されました。ちょうど新型コロナウイルス感染第 7 波が沈静化した頃でしたので、密を避けるなどの対策をしながらも、3 年ぶりにオンサイトで実施しました。全面改装後のキャンパスに会員の皆様をお迎えし、レストラン街、キッチンカー、学生食堂などをお楽しみいただくことができました。

111 名（一般 70 名，大学院生 16 名，学部学生 25 名）が参加し、24 題の口演及び 23 題のポスター発表に対し、活発な討議が行われました。

1 日目の午後に総会を開催し、生理学研究所 久保義弘教授より第 100 回日本生理学会大会の準備状況、国際交流委員会、IUPS 国際生理科学連合、FAOPS アジアオセアニア生理学会連合についての連絡事項、次回第 70 回中部日本生理学会に関して浜松医科大学 鈴木優子教授からのご報告がありました。

その後特別講演として藤田医科大学 精神・神経病態解明センター 貝淵弘三教授により「心が動く（情動）仕組みを分子レベルで理解する」と題し、情動を制御する細胞内シグナル伝達機構や全脳レベルでのリン酸化シグナル解析まで、興味深いお話をいただきました。

1 日目の最後、ポスター発表フラッシュトークの後に、ポスターセッションを 2 時間設けました。感染対策のため懇親会を予定しなかった代わりとして軽食コーナーを設け、最後まで懇親を深めていただくことができました。2 日目午前の口頭発表ののち、昼過ぎに閉会となりました。

開催に際して、学会の参加者の皆様、座長を引き受けてくださった皆様、並びに運営に携わった皆様に厚く御礼を申し上げ、本学会の開催報告といたします。

---

地方会抄録はウェブページ <http://physiology.jp/nisseishi/> に掲載させていただくことになりました。（Pt 2）p. 14～p. 30 をご覧ください。